

自動運転システムの倫理問題

- 自動運転を実現する社会でも安全、モビリティ、合法性の成立が必須
- 様々な環境でどのように自動化を機能させるかが課題哲学者と技術者の共同検討が必要



避けられない際にどちらに衝突するか



合流時に制限速度で走行するか



センターラインを越えずに待つか



ラウンドアバウトを 脱け出せるか

自動車基準調和世界フォーラム (WP29) の概要

1. 自動車基準調和世界フォーラムの目的

安全で環境性能の高い自動車を容易に普及させる観点から、自動車の安全・環境基準を国際的に調和することや、政府による自動車の認証の国際的な相互承認を推進することを目的としている。

2. 自動車基準調和世界フォーラムの組織

自動車基準調和世界フォーラムは、国連欧州経済委員会 (UN/ECE)の下にあり、傘下に六つの専門分科会を有している。分科会で技術的、専門的検討を行い、検討を経た基準案の審議・採決を行っている。

3. 自動車基準調和世界フォーラムのメンバー

欧州各国、1地域 (EU)に加え、日本、米国、カナダ、オーストラリア、南アフリカ、中国、インド、韓国等 (日本は1977年から継続的に参加)、また、非政府機関 (OICA (国際自動車工業会)、IMMA (国際二輪自動車工業会)、ISO (国際規格協会)、CLEPA (欧州自動車部品工業会)、SAE (自動車技術会)等)も参加している。

4. 自動車基準調和世界フォーラムの主な活動内容

次に掲げるそれぞれの協定に基づく規則の制定・改正作業を行うとともに、それぞれの協定の管理・運営を行う。

- ・「国連の車両等の型式認定相互承認協定 (略称)」 (1958年協定)
- ・「国連の車両等の世界技術規則協定 (略称)」 (1998年協定)

